



九電みらいエナジー
Kyuden Mirai Energy

Corporate Profile

自然の力で 輝くみらいへ

「私たちは、自然が持つ様々な力をエネルギーとして活かすことで、
ずっと快適な社会の実現や魅力ある地域づくりに貢献します。」

九電みらいエナジー 2つのミッション

再生可能エネルギー発電事業

自然の力をエネルギーに変えます。



発電事業／調査、計画、建設、運営、保守事業 他

小売電気事業

おトクな電気を販売します。



関東地区

東京都・千葉県・群馬県・神奈川県・茨城県・
山梨県・埼玉県・栃木県・静岡県の一部

再エネ発電事業エリア
(国内外)

小売電気事業エリア
(関東地区)



私たちは、エネルギーから 「みらい」を見つめる企業です。

当社は、再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、九州電力グループで培ってきた再エネに関する技術やノウハウ、そして人材などの経営資源を統合し、2014年7月に設立しました。

固定価格買取制度の導入以降、再エネを含めた電力事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化していますが、私たちは、これを成長の好機と捉え、九電グループのブランドメッセージである「ずっと先まで、明るくしたい。」という思いと、当社の企業理念である「自然の力で輝くみらいへ」、この2つを同時に達成することを目指して邁進しています。

再エネ発電事業においては、これまでの再エネ5電源の開発・運営実績をもとに、引き続き地域資源の特徴を活かし、地域の皆さまの理解を得ながら開発を進めます。

また、開発にあたっては、再エネの主力電源化に向け、次世代再エネの開発、他電源や電力系統との協調なども積極的に行い、責任あるエネルギー事業者として、再エネの大量導入における課題にも真摯に取り組んでいきます。

これらの取り組みを通して、九電グループの成長戦略の一翼を担いながら、再エネにおけるリーディングカンパニーとして次代を拓いていきます。

小売電気事業においては、ご家庭向けに、電気ご使用量に応じてマイルまたは各種ポイントがたまる料金プランやオール電化向けの料金プランをご用意し、法人のお客さま向けにも、ご契約の規模やご使用状況に応じたおトクな料金をご提案するなど、全てのお客さまにお喜びいただけるようなサービスを展開しています。

今後は、自社の再エネ電源を活用した新たな料金プランのご提案等を行い、更にお客さまの選択肢を拡大していきます。

私たちは、今後もスピード感、チャレンジ精神、九電グループのフロンティアスピリットを最大限活かし、再エネの開発と利用拡大、ならびにお客さまの多様なニーズに応じたエネルギーサービスのご提供を通じて、地域の皆さまと一緒に、持続可能な循環型・低炭素社会、そしてカーボンニュートラルの実現に挑み続けます。

2020年6月
九電みらいエナジー株式会社

代表取締役社長

水町 豊



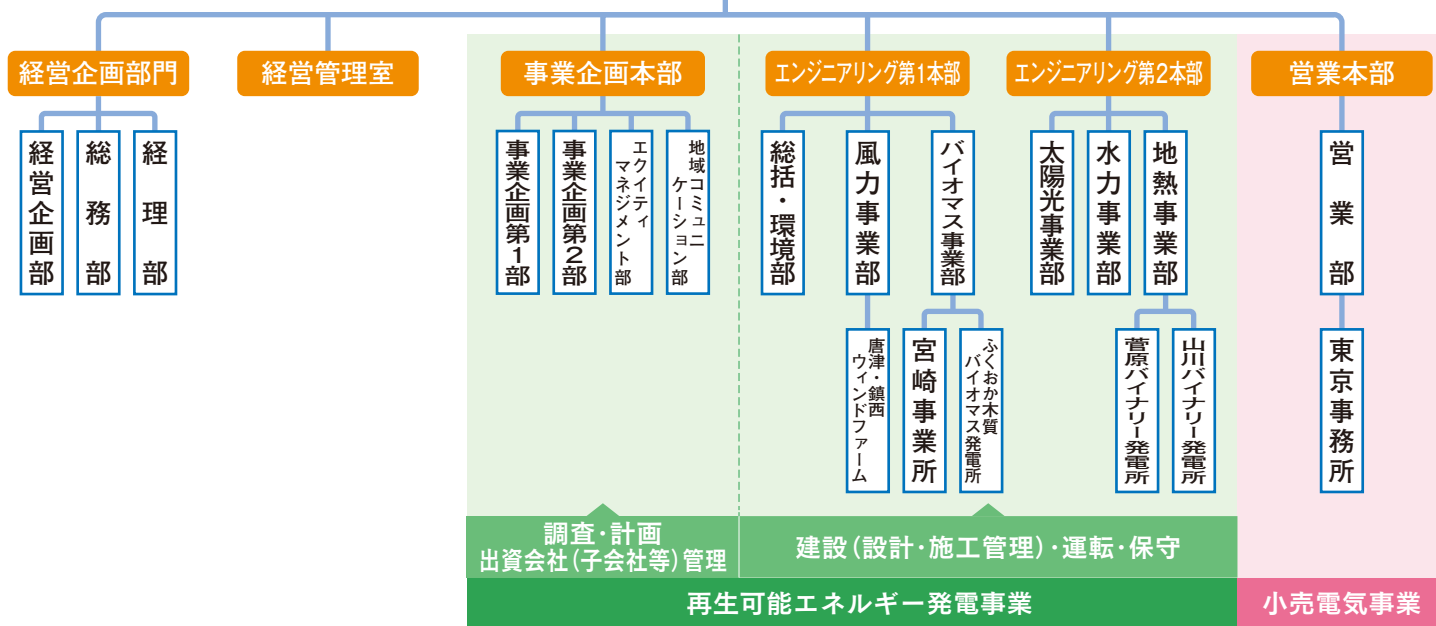
会社概要

設 立	2014年7月1日	事業エリア	日本国内および海外
資 本 金	77億7015万円	株 主	九州電力株式会社100%
代 表 者	代表取締役社長 水町 豊 (みずまち ゆたか)	従 業 員 数	196名(2021年3月31日現在)
本社所在地	〒810-0022 福岡市中央区薬院3-2-23 KMGビル8階	代表電話番号	(092) 981-0981

組織図

代表取締役社長

2021年11月2日現在



子会社

長島ウインドヒル株式会社

串間ウインドヒル株式会社

みやざきバイオマスリサイクル株式会社

下関バイオマスエナジー合同会社

沿革

2009年 12月 太陽光オンサイト発電事業を行う株式会社キューデン・エコソルを設立

2010年 12月 最初のオンサイト発電サービス案件の竣工

2012年 7月 固定価格買取制度の開始を受け、自社電源の開発を始める

2013年 3月 最初の自社発電事業である大村メガソーラー第1発電所が運転開始

2014年 7月 九電みらいエナジー株式会社設立
(長島ウインドヒル株式会社、串間ウインドヒル株式会社、みやざきバイオマスリサイクル株式会社を子会社化)

株式会社キューデン・エコソル

九州電力株式会社
再生可能エネルギー開発部門

西日本環境エネルギー株式会社
再生可能エネルギー事業

集約

九電みらいエナジー株式会社

2015年 6月 自治体と民間企業が協働する国内初の地熱発電事業である菅原バイナリー発電所が運転開始

2016年 4月 小売電気事業に参入

2017年 2月 九州域外初の自社発電事業である東広島メガソーラーが運転開始

2017年 6月 事業パートナーとの提携による初の発電事業であるレナトス相馬ソーラーパークが運転開始

2017年 12月 下関バイオマスエナジー合同会社を子会社化

2018年 9月 自社において初の水力発電事業である鴨猪水力発電所が運転開始
⇒導入済の発電所が再エネ5電源(地熱・風力・バイオマス・水力・太陽光)揃う

2019年 1月 山川バイナリー発電所が2018年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞(導入活動部門)」受賞



再生可能エネルギー発電事業

九州電力グループの信頼と技術を活かし、
再生可能エネルギーの開発・運営を行います。

九州電力グループは、かねてより地球温暖化対策の一環として、再生可能エネルギーの開発に取り組んできました。
これまで培ってきた技術力を活かし、再エネ5電源（地熱・風力・バイオマス・水力・太陽光）の開発から運営までを一貫体制で行い、長期安定稼働を実現します。



当社の強み

自然が持つ様々な力は地域の大切な資源。私たちは、九州電力グループの信頼と技術を活かし、地域資源からエネルギーという資産を生み出し、地域発展のお役に立つ再エネ事業者です。

安心と信頼

再生可能エネルギー発電全般を開発できる数少ない企業です。用地交渉や環境調査を行う部署も設置し、地域の皆様と対話を重視したコミュニケーションを図り、皆様の声を的確かつ迅速に事業活動へ反映します。

高い技術力

長年、再生可能エネルギーの開発に取り組んできた九州電力グループ。そこで培われた豊富な知見、ノウハウを活かし、安定した発電を維持する高い工事品質と設備稼働率を実現します。

高稼働運転の維持

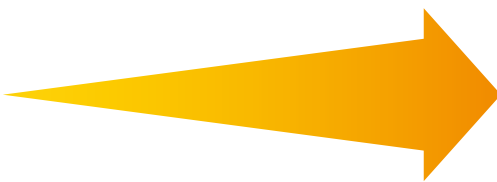
適切な運転はもとより、運転状況の分析や点検等を実施し、設備稼働率向上に努めています。携帯やタブレット端末を活用した24時間体制での設備の監視等も行っています。

導入ビジョン

九州電力グループの再エネ開発中核会社として、設立10年目で85万kWの導入を目指します。

設立時(2014年)

約10万kW



設立10年目(2023年)

85万kW

自社開発による発電事業

菅原バイナリー発電所 [大分県九重町]

自治体と協働した国内初の地熱発電事業

国内初の 5,000kW 級の地熱バイナリー発電所であり、地元自治体の九重町と当社が協働して行う地熱発電事業です。

九重町が所有する地熱井から蒸気・熱水を提供いただき、当社が設置・運営する地熱バイナリー発電設備を使って発電します。

発電した電気は九州電力へ売電し、当社は売電で得た収入から九重町に熱使用料をお支払いします。

当社も九重町も安定した収入を得ながら、純国産エネルギーの有効活用と地球温暖化防止の推進に貢献します。

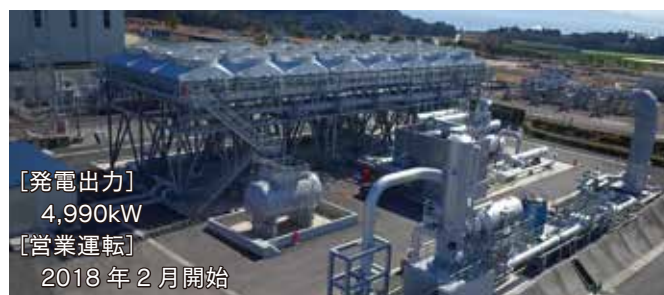


山川バイナリー発電所 [鹿児島県指宿市]

九州電力グループ一体で未利用エネルギーを有効活用

九州電力の山川発電所構内にあり、山川発電所で発電に利用できずに地下に戻っていた熱水の熱を活用して発電しているため、未利用エネルギーを有効活用する地熱発電事業です。

九州電力が還元熱水（熱）を供給し当社が地熱バイナリー発電所を運営する九州電力グループ一体での取り組みです。



ワンポイント <地熱バイナリー発電とは>

沸騰する温度が水よりも低い低沸点媒体を地熱熱水と蒸気で加熱・蒸発させて、その媒体蒸気でタービンを回して発電する発電方式です。通常の地熱発電に比べて、温度が低い地熱資源を有効活用できるのが特長です。

ふくおか木質バイオマス発電所 [福岡県筑前町]

林業や地域の活性化に貢献

間伐材などの国内の未利用木材を燃料として有効活用する木質バイオマス発電事業です。

林業関係者等で組織する「ふくおか木質バイオマス木材安定供給協議会」が木材を供給、中山ホールディングス(株)と当社の共同出資会社「グリーンパーク N&M (株)」が木質チップを製造、当社が発電所の運営を行います。

福岡県初の国内材専焼の木質バイオマス発電事業として、福岡県近郊の林業や地域の活性化に貢献します。



鴨猪水力発電所 [熊本県山都町]

地域のかんがい用水路と未利用落差を有効活用

山都町菅地域を流れる鴨猪川から取水するかんがい用水路の一部と未利用落差約 270m で山都町の豊富な水資源を有効活用した水力発電事業です。

使用水量は小規模ですが、高落差により高い発電出力をうみだします。

県立自然公園内に位置することから、水圧管路の大部分を道路に埋設し、周辺環境に配慮しています。



事業パートナーとの提携による発電事業



レナトス相馬ソーラーパーク [福島県相馬市]

震災復興のシンボルに

(株)九電工、(株)ベルテクノエナジー、(株)北斗電気設備工事と共同で参画した大規模太陽光発電事業です。

東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた集落跡地と農作が困難になった約 70 万 m²の土地を有効活用しています。

保守・メンテナンス業務の委託において地元雇用を創出するなどの地域貢献策を行っています。



[発電出力]
43,500kW
[営業運転]
2017 年 6 月開始

事業会社：合同会社レナトス相馬ソーラーパーク



豊前バイオマス発電所 [福岡県豊前市]

国内最大級となる木質バイオマス発電事業

イーレックス(株)、(株)九電工と共同で参画した国内最大級の木質バイオマス発電事業です。

当社は発電所への技術的サポートを行い、イーレックス(株)はバイオマス燃料の調達・供給を担うことで、各社の強みを活かした安定的な事業運営を図ります。



[発電出力]
74,950kW
[使用燃料]
パーム椰子殻 (PKS) 木質ペレット
[営業運転]
2020 年 1 月開始

事業会社：豊前ニューエナジー合同会社

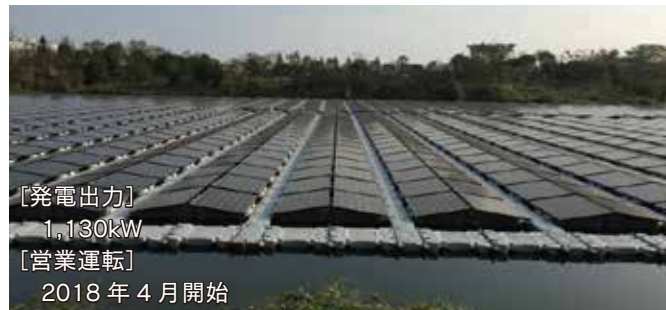


樹谷第 2 発電所 [台湾台南市]

海外における水上太陽光発電事業

東京センチュリー(株)、CIEL ET TERRE (シエル&テール) TAIWAN LIMITED、(株)九電工と共同で参画した水上太陽光発電事業です。

台南市所有の調整池に浮かべた太陽光パネルにより発電し、発電した電気は、台湾電力(株)へ売電します。



[発電出力]
1,130kW
[営業運転]
2018 年 4 月開始

事業会社：CHAOHUI (チャオフエイ) ENERGY CO.,LTD

ワンポイント

<水上太陽光発電のメリット>

- ・ 水上に設置することにより、冷却効果が得られ、地上置き型・屋根置き型と比べ、「高い発電量」が期待できます。
- ・ 太陽光パネルが水面を覆うことで、「貯水の蒸発量の軽減」「藻類の異常発生」を防ぐことが期待できます。

全国初!防災時切替型の太陽光発電設備導入



薩摩川内市総合運動公園 [鹿児島県]

薩摩川内市の公募により、災害時だけでなく、平常時にも効果を発揮する太陽光発電設備を導入しています。

平常時は、太陽光発電 630kW (駐車場+サブアリーナ) を全量売電、残り 40kW (武道場) を自家消費する環境性と経済性を両立したシステムです。

停電時は、全量売電用の太陽光発電の一部 (サブアリーナ 100kW) を、避難所の非常用照明や非常用コンセント等に繋がる系統に切り替えて発電を続けながら、非常用発電機と協調運転を行い、発電機の運転時間を延ばします。

停電時に、全量売電用の太陽光発電を非常用負荷等に繋げて使用する仕組みは全国初。



取組事例

自社発電設備の開発・運営だけでなく、
再エネの普及・推進に向けたさまざまな取り組みを展開しています。

大規模な洋上風力発電プロジェクト始動【福岡県北九州市】



出典：北九州市作成資料を基にひびきウインドエナジー(株)が修正・加筆

現在、電源開発(株)、(株)北拓、西部ガス(株)、(株)九電工とコンソーシアムを組み、北九州市の響灘で洋上風力発電プロジェクトを進めています。

港湾法改正後初となる北九州市の公募で、2017年2月に設置・運営事業実施予定者として選定され、2017年4月に事業主体となる特別目的会社「ひびきウインドエナジー(株)」を設立しました。

北九州港港湾区域内の約2,700haにわたるエリアに、最大約22万kWの洋上風力発電所の建設を目指して、2017年度より風況観測、海域調査、環境影響評価を進めており、これらの調査結果をもとに事業計画の具体化を図ります。2022年度から建設工事に着手し、順次運転を開始する予定です。

Floating Wind Joint Industry Project (JIP) に日本企業として初めて参加

イギリスの Carbon Trust が主催する Floating Wind Joint Industry Project (JIP) に日本企業として初めて参加し、欧州の主要な発電事業者等とともに浮体式洋上風力発電事業の大規模な商用化に向けた技術的・コスト的課題解決に向けて検討を進めています。

[Floating Wind Joint Industry Project (JIP) の構成団体]



子会社による発電事業

みやざきバイオマスリサイクル発電所

家畜排泄物（鶏ふん）によるバイオマス発電事業です。



子会社：みやざきバイオマスリサイクル株式会社

下関バイオマス発電所

当社、西日本プラント工業(株)、九電産業(株)の九電グループ3社が調査・建設、運転・管理までを一貫して進める初めての大型バイオマス発電事業です。



子会社：下関バイオマスエナジー合同会社

長島風力発電所

発電出力2,400kWの風車を21基設置しています。



子会社：長島ウインドヒル株式会社

串間風力発電所

発電出力2,850kWの風車を23基設置しています。



子会社：串間ウインドヒル株式会社

発電設備高稼働運転の取組み

発電設備の高稼働運転のため、電気事業で培った技術力とノウハウを活かし、適切な保守運営を行っています。

1 発電設備の運転監視及び保守点検

- ・ 設備の稼働率向上に向けた適切な発電設備の運転や分析、日常点検、定期点検の期間短縮
- ・ 携帯端末やタブレット端末を活用し、24時間体制による発電設備の監視
- ・ 発電設備の改善や経年劣化対策などの取組み

2 保全マニュアルによる確実な設備の運用

3 発電設備運営・保守に関する人材育成と技術継承

- ・ トラブル等を想定した対応訓練や勉強会の実施、若手社員へのOJT等



若手社員の声



ながせ あきふみ
永瀬 諒史

2015年10月に入社し、太陽光発電所の保守・運営に携わり、毎日の発電量の確認や発電設備の修繕作業等を行っています。

今後、運転開始後の発電設備をより安全かつ高効率に運転できるように、しっかりとノウハウを身に付け、全ての再生可能エネルギー電源の保守・運営にも携わり、マルチに活躍できる人材へと成長したいと思っています。

いとう ひろや
伊藤 浩也

2018年4月、再生可能エネルギーの普及に携わる仕事がしたく、九電みらいエナジーへ入社しました。

その理由は、当社の再生可能エネルギー発電事業は5電源と多岐にわたり、開発から運営までを行う数少ない企業であることから、再生可能エネルギーに関する様々な業務経験ができ、九電グループの培ってきた知見や技術力から多くのことを学べることに魅力を感じたからです。

今後、多くの知識と経験を積み重ね、全国の発電所建設や運営等の現場で活躍できる技術者となることが目標です。



九電みらいエナジーの採用情報はこちら

Q みらい 採用

検索

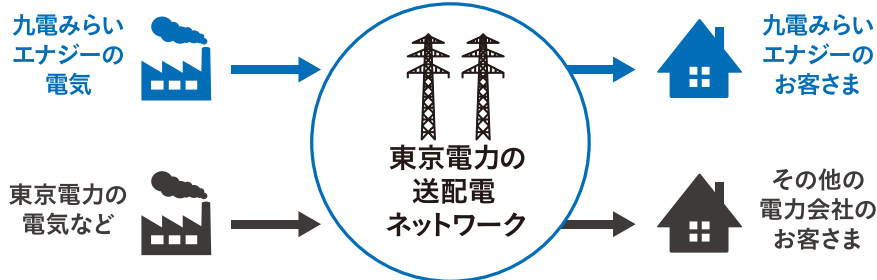


小売電気事業

安心はそのままに。

おトクな電気を販売します。

2016年4月より、一般家庭を含めた電力小売の自由化が開始。電力会社を自由に選べるようになりました。



当社の電気料金プランは、関東エリアのご家庭や商店等のお客さまに加え、法人のお客さまにもお喜びいただけるよう、幅広く展開しています。

また、環境を大切にされるお客さまのニーズにお応えし、再エネ発電事業とのシナジーを活かした環境に優しいCO₂フリー電気にも対応しています。

ご家庭や商店等のお客さま向け

電気代でポイントやマイルをためたい!とことんおトクさを追求したい!
そんなお客さまにピッタリの料金プランをお届けします!



オール電化住宅に最適な「夜」がおトクなプランもあるよ♪

詳しくは

九電みらい

検索



法人のお客さま向け

とにかくコストを抑えたい！
お客さまが抱えるその悩みに全力でお応えします！

学校・教育施設

オフィスビル

病院

店舗・事務所

工場



店舗・事務所から、オフィスビル、病院、工場まで！
お客さまのご契約規模やご使用状況に応じて、
おトクな料金をご提案させていただきます！

無料で試算いたします！
まずは当社にお問合せください！



過去のデータから最新月の情報まで、WEBでカンタンにチェック！
エコで便利な会員サービス「みらいサイトビジネス」でおトクを実感！

MIRAI-SITE
BUSINESS
みらいサイトビジネス

無料会員登録は

みらいサイトビジネス

検索





九電みらいエナジーの
最新情報を発信しています！

Facebook 九電みらいエナジー

検 索



〈本 社〉

〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院3-2-23 KMGビル8階

〔代表電話〕 092-981-0981（受付時間 平日 9 時～17 時）

〔電気のご契約に関するお問合せ〕 0120-0910-17（受付時間 平日 9 時～17 時）

WEB SITE



発電事業設備の導入実績

[合計]557MW

※2021年11月現在

☀ 太陽光	14地点	101MW	🔥 地熱	2地点	10MW	💧 水力	1地点	2MW
💨 風力	3地点	142MW	🌱 バイオマス	8地点	302MW			

※太陽光はオンサイト発電含む。

(参考:1MW=1,000kW)

	所在地	操業開始	設備容量
☀ 太陽光発電			
○大牟田メガソーラー発電所	福岡県	2010年 11月	1,990kW
大村メガソーラー第1～4発電所	長崎県	2013年 3月～	17,480kW
菊池メガソーラー発電所	熊本県	2014年 3月	1,990kW
佐世保メガソーラー発電所	長崎県	2014年 3月	10,000kW
綾メガソーラー発電所	宮崎県	2014年 4月	1,000kW
宗像メガソーラー発電所	福岡県	2014年 5月	1,603kW
松浦メガソーラー発電所	長崎県	2014年 6月	1,500kW
井手浦浄水場メガソーラー発電所	福岡県	2014年 8月	1,990kW
伊万里メガソーラー第1～2発電所	佐賀県	2015年 3月	1,040kW
苅田メガソーラー発電所	福岡県	2015年 8月	1,000kW
宮若メガソーラー発電所	福岡県	2015年 10月	1,000kW
東広島メガソーラー発電所	広島県	2017年 2月	1,000kW
◇レナトス相馬ソーラーパーク	福島県	2017年 6月	43,500kW
◇ ^{スグ} 樹谷第1～2発電所	台湾	2018年 4月～	5,130kW

○2018年7月に九州電力(株)から譲受

◎子会社による発電事業

◇事業パートナーとの提携による発電事業

	所在地	操業開始	設備容量
💨 風力発電			
◎長島風力発電所	鹿児島県	2008年 10月	50,400kW
◎串間風力発電所	宮崎県	2020年 10月	64,800kW
唐津・鎮西ウインドファーム	佐賀県	2021年 11月	27,200kW
🔥 地熱発電			
菅原バイナリー発電所	大分県	2015年 6月	5,000kW
やまがわ 山川バイナリー発電所	鹿児島県	2018年 2月	4,990kW
🌱 バイオマス発電			
◎みやざきバイオマスリサイクル発電所	宮崎県	2005年 5月	11,350kW
◇セツ島バイオマス発電所	鹿児島県	2019年 5月	49,000kW
◇豊前バイオマス発電所	福岡県	2020年 1月	74,950kW
ふくおか木質バイオマス発電所	福岡県	2020年 5月	5,700kW
◇ソヤノウッドパワー発電所	長野県	2020年 10月	14,500kW
◇苅田バイオマス発電所	福岡県	2021年 6月	74,950kW
◇なかぐすく 中城バイオマス発電所	沖縄県	2021年 7月	49,000kW
◇大分バイオマス発電所	大分県	2021年 7月	22,000kW
💧 水力発電			
かもし 鴨猪水力発電所	熊本県	2018年 9月	1,990kW



ふくおか木質バイオマス発電所
5,700kW (2020年5月運転開始)

燃料に国産材100%を利用



かもし
鴨猪水力発電所

1,990kW (2018年9月運転開始)

地域のかんがい用水路と未利用落差を有効活用



◎串間風力発電所

64,800kW (2020年10月運転開始)

風車(2,850kW)を23基設置



菅原バイナリー発電所
5,000kW (2015年6月運転開始)

自治体と協働した国内初の地熱発電事業



◇レナトス相馬ソーラーパーク
43,500kW (2017年6月運転開始)

震災被害の土地を有効活用



◎みやざきバイオマスリサイクル発電所
11,350kW (2005年5月運転開始)

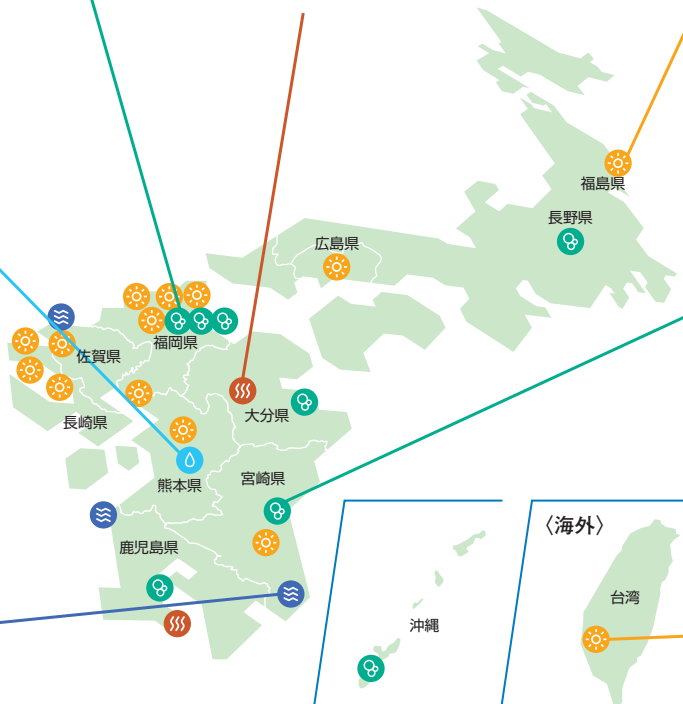
燃料に家畜排泄物(鶏ふん)を使用



◇^{スグ}樹谷第1～2発電所

5,130kW (2018年4月～運転開始)

海外における水上太陽光発電事業



発電事業設備の今後の導入予定

※2021年11月現在

[合計]311MW

☀ 太陽光	1 地点	60MW予定	♂ バイオマス	4 地点	251MW予定
-------	------	--------	---------	------	---------

(参考:1MW=1,000kW)

	所在地	操業開始	設備容量
☀ 太陽光発電			
◇宮リバー度会ソーラーパーク	三重県	2023年 3 月 予定	59,900kW
♂ バイオマス発電			
◎下関バイオマス発電所	山口県	2022年 2 月 予定	74,980kW
◇広畑バイオマス発電所	兵庫県	2023年 8 月 予定	74,900kW
◇石狩新港バイオマス発電所	北海道	2022年 8 月 予定	51,500kW
◇田原グリーンバイオマス発電所	愛知県	2025年 4 月 予定	50,000kW

◎子会社による発電事業

◇事業パートナーとの提携による発電事業

